平成22年度事務事業評価シート　　平成 22 年　6 月　25 日　作成

事務事業No./名称	■サービス部門 □支援部門	都整-42	作業センター事業		
主管課	作業センター		関連課	各部各課	
分野名	下水道・河川				
目標（目標値）	下水道、河川の維持補修作業を行い、安全で快適な生活を送れるまちづくりをする。（要望処理率95%）				

ザイムスコード及び個別事業名	
1317	作業センター事業

人口等のデータ	データ区分	21年度	20年度	備考
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日（住民基本台帳）
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯	
運営資源状況	決算値	7,609千円	13,320千円	
	（国・県）			
	（負担金等）			
	（一般財源）	7,609千円	13,320千円	
	人員配置数	6.0人	7.0人	
	人件費	51,890千円	61,400千円	
	協働のパートナー			
事務事業運営経費	総事業費	59,499千円	74,720千円	
	市民1人当りの経費	337円	423円	
	対象者1人当りの経費			

ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）	団体名					

指標と評価		
指標	要望処理率	
評価	○	
◎目標を達成　○目標に向かって前進　△横ばい　×後退		
	目標値	実績値
20年度	95%	88.30%
21年度	95%	89.40%
22年度	95%	
23年度	95%	
最終年度（　年度）	97.50%	

創意・工夫・課題等改善状況

課題・問題点

（21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか）

1　作業センター職員の執務場所が平成22年度末までの暫定利用であるため、恒久的な執務場所の確定が急務である。
2　技能労務職員の退職者不補充による減少と高齢化に伴い、要望個所処理率の低下が危惧される。
3　道路の経年劣化による補修要望の増加がみられ、現場調査や対応に相当の時間を要した。

創意・工夫・課題等の改善点21年度の成果

（課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか）

1　執務場所については、関係各課とともに候補地を選定し検討を行った。
2　道路、下水、公園、美化の現業4部門を統合し作業員の一部入れ替えや、必要に応じた人員のやり繰りを行い技術の継承に努めた。
3　パトロール班及び各班長に携帯電話を配布して、様々な要望に対して迅速な対応を実現させた。

未解決の課題・問題点

（21年度事務事業の取組において対応（解決）できなかったものはどのようなことですか）

1　作業センター職員の執務場所を確定する。
2　民間委託化の推進。

今後の方針（対応・改善）

（上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応（改善）していきますか）

1　関係各課と協議し、作業センター職員の執務場所を確定する。
2　委託事業費の拡充。

一次評価（課長評価）			二次評価（部長評価）		
A:充実又は拡大　B:現状のまま継続　C:統合又は縮小　D:廃止又は休止　E:事業完了					
評価結果	改善の必要性	1　民間委託化を推進して行く。 2　下水道の管理者の一員として、関係各課と迅速で効率的な連絡調整を充実する。	評価結果	改善の必要性	市民サービスの維持向上のため、各種の要望等に対して、迅速かつ効率的に処理できる体制作りに努めるとともに、常に市民サービスの内容を見直す。
A	有		A	有	
課長名		作業センター所長　坂巻　龍馬	部名・部長名		都市整備部　山内　廣行